

第7回滋賀県
多職種
連携学会
研究大会

令和4年

12

4日

13:00~16:30



基調講演

多職種連携で支える
地域包括ケア
地域共生社会

講師

田中 滋氏

埼玉県立大学理事長
慶應義塾大学名誉教授

企画演題

さまざまな分野での多職種連携

一般演題

◆学会長 越智 眞一氏 (一般社団法人 滋賀県医師会)

◆大会長 大野 辰治氏 (一般社団法人 滋賀県病院協会)

参加費
無料

対象

保健・医療・福祉・就労・教育等の関係従事者と当事者や家族

オンライン
Zoom
開催!!

申込方法

しがネット受付サービス▶



制作協力：特定非営利活動法人 アイ・コラボレーション

いろいろな取り組みを知ってみよう！
地域共生社会の実現に向けて



第7回 滋賀県

連携学会

多職種

研究大会

令和4年

12

4日

13:00~16:30

いろいろな取り組みを知ってみよう！
～地域共生社会の実現に向けて～

基調講演

多職種連携で支える地域包括ケア・地域共生社会

講師プロフィール

田中 滋氏

埼玉県立大学理事長
慶應義塾大学名誉教授

ご略歴

1993-2014 年慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
慶應義塾大学名誉教授（2014 年～）
公立大学法人埼玉県立大学理事長（2018 年～）
学会役職
日本地域包括ケア学会理事長、日本ケアマネジメント学会理事、
アジア太平洋ヘルスサポート学会理事長、日本介護経営学会会長、
日本老年学会理事
公職
社会保障審議会会長（兼：介護給付費分科会長・福祉部会長）、
医療介護総合確保促進会議議長、協会けんぽ運営委員長など

わが国が直面する社会課題に対応するためにも、もう一步進んだ地域包括ケアシステムを2040年までに作らなければならない。まず1つ目に、超高齢人口の一層の増加により、ニーズが複合化し重度化するため、これまで以上に医療・介護・リハビリテーション・栄養ケア・口腔ケア等の密な協働が求められる。2つ目には、これまでになかったような生活ニーズ・生きがいニーズへの対応が欠かせない。3つ目は、経済格差の広がりである。経済面の問題は医療や介護だけでは解決できない。経済的弱者もくらしやすい地域づくり（いわゆる“共生社会”）にあたっては、住民の力を支援する自治体と福祉職の役割との連携も重要となる。

企画演題

さまざまな分野での多職種連携

一般演題



事務局

滋賀県立リハビリテーションセンター

滋賀県守山市守山5丁目4-30

TEL / 077-582-8157

FAX / 077-582-5726

E-mail / eg3001@pref.shiga.lg.jp

<https://www.pref.shiga.lg.jp/rehabili/renkeigakkai/317289.html>



主催 滋賀県多職種連携学会

（構成団体・順不同）

一般社団法人滋賀県医師会、一般社団法人滋賀県病院協会、一般社団法人滋賀県歯科医師会、一般社団法人滋賀県薬剤師会、一般社団法人滋賀県作業療法士会、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、一般社団法人滋賀県歯科衛生士会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、公益社団法人滋賀県私立病院協会、公益社団法人滋賀県看護協会、公益社団法人滋賀県理学療法士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、公益社団法人滋賀県栄養士会、公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県言語聴覚士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県老人福祉施設協議会、滋賀県児童成人福祉施設協議会、滋賀県障害者自立支援協議会、滋賀県社会就労センター協議会、滋賀県社会就労事業振興センター、滋賀県保健所長会、滋賀県